

海外短期研修が高専生の 英語の技能・知識及び情意面へ及ぼす影響

今村一博*

The Effects of Short-Term Study Abroad Programs on the Attitudes, Knowledge, and English Skills of Japanese Technology Students

Kazuhiro IMAMURA*

ABSTRACT

This study investigates how a two-week study abroad program in New Zealand influenced 23 Japanese technology students' attitudes to English, and their motivation to learn it. According to the results of this study's questionnaire, the program a) increased their interest in English books, b) increased their motivation to study English every day, c) increased their motivation to improve their English reading, writing, and vocabulary, d) increased their motivation to communicate with various people in English, and e) relieved their fear of English tests to some degree. On the other hand, the results also show that f) the students found reading in English harder, although more detailed research is needed to find the reasons.

Keywords : short-term study abroad program, attitudes, motivation, knowledge, questionnaire

1. はじめに

現在では海外研修を受ける機会を学生・生徒の希望者または全員に与えている中等・高等教育機関はかなり多い。社会全体のニーズとして、多くの他の教育機関で導入しているとして、海外研修を実施したが、その影響を精細に調査していなかったり、導入直後はその影響を調査していても、その後長く詳細な調査・分析をしていなかったりするケースも多いようである。

しかし、海外研修は短期であっても、参加学生の時間的・経済的負担は大きい。その負担に見合う、有意義な海外研修を実施するためには、参加学生に対する影響を把握することが不可欠である。

2. 先行研究

Splichal&Yamada⁽¹⁾は、合衆国の提携大学における 2 週間の英語集中研修と国際交流を中心とするプログラムに参加した 13 人の日本の大学生を対象に質問紙調査を行った。研修前と研修後に 44 の質問項目から成る 5 件法の同じ質問紙で調査を実施し、統計処理を

行った結果、2 週間のプログラムでも、「外国の人に話しかけられる時に感じる不安が緩和された」、「外国の人と話をするのが楽しくなった」といった肯定的な影響が見られた。一方、「新しいチャレンジ・独立への態度」に関しては変化は見られなかった。

大塚・根岸⁽²⁾は、ニュージーランドの工科大学またはオーストラリア語学学校で 2 週間の語学研修を受けた計 24 名の高専 2・3 年生を対象にして、研修前後に英語使用及び英語授業中の不安に関する 6 件法の同じ質問紙による調査を行った。結果として英語を使用することに対する不安、英語の授業に対する不安が共に緩和されたことがわかった。

上記以外にも、海外短期研修が及ぼす影響を調査した先行研究は見られたが、英語及び英語学習に対する態度・動機づけへの影響を含めて詳細に調査した近年の研究は少なかった。

3. 研究目的

本研究では、以下の研究課題を設定した。海外短期研修は、参加した学生の英語及び英語学習に対する態度・動機づけへどのような影響を及ぼすか。

* 一般科 教授

4. 研究方法

4.1 参加者

ニュージーランドのポリテクニクへ2週間の短期研修に参加した、高専1年生から3年生の23名(男子19名、女子4名)を調査対象とした。全員、ホストファミリーの家に宿泊し、学校では午前中は少人数クラスで英語コミュニケーションの授業を、午後は一般工学コース、機電工学コースの2つのグループに分かれて、工学系の授業を英語で受けた。

4.2 手順

今村³⁾で使用した、英語及び英語学習に対する態度・動機づけに関する認識を尋ねる質問紙(6件法、55問)(付録1)を用いた。短期研修開始の約6か月前に事前調査を、短期研修終了後約1か月の時期に同じ質問項目で事後調査を行った。

またニュージーランドでの短期研修の準備をするために、短期研修開始の約6か月前から短期研修の期間前までに計6回のホストファミリーとのコミュニケーション、英語プレゼンテーションのリハーサル等の多様な校内研修を実施した。

5. 結果と分析

質問紙の事前・事後の結果の記述統計は表1の通りである。事前と事後に各質問項目間で有意な差があるかを調べるために、ノンパラメトリック検定であるウィルコクソンの符号付順位検定を行った。その結果、計2つの質問項目において、大きな効果量($r \geq .50$)が見られ、計10の質問項目において中程度の効果量($r \geq .30$)が見られた。

まず、質問項目5の「本屋などで英語の本を手にとってみる」が大きな効果量を示し($r = .56$)、英語の授業とは関係なく、以前よりも英語の本に興味・関心を示すようになったことが明らかとなった。また、質問項目19の「ほとんど毎日、英語を学習する習慣がある」も大きな効果量を示し($r = .59$)、英語を毎日学習する習慣が強まったことを示した。

次に中程度の効果量を示したものを見ていきたい。その中に「英語の読解力を身につけたい」(項目7)、「英語の作文力を身につけたい」(項目38)、「英語の語彙力を身につけたい」(項目1)があり、英語の読む・書くに加えて語彙力を向上させたいと願う態度・動機づけを示した。一方、英語を話す・聴くことについては、「英語の話す力を身につけたい」(項目15)、「英語の聴きとる力を身につけたい」(項目45)の事前調査において、各々、平均値 5.826+標準偏差.388、平均値 5.696+標準偏差.559の値が6を超え、天井効果が見られていた。よって英語を話す力・聴く力を高めたいという態度・動機づけに関しては、事前調査段階で既に極めて高い水準にあったことがわかる。

それにもかかわらず、読むことに関しては、「英文を

読むことが苦になる」(項目13)、「長い英文を読むのは嫌いである」(項目55)が上昇し、英文を読むことに対して好ましくない情意が増したことが明らかとなった。その原因・理由については次項で考察したい。

しかし、「英語のテストを受ける時、できないのではないかと不安になる」(項目47)が減少し、英語のテストに対する不安が緩和されていた。そして、「外国人と英語でメール交換をしたい」(項目10)、「海外旅行をしたなら、現地の人と英語でコミュニケーションをしたい」(項目31)、「英語で色々な国の人と話したい」(項目39)という3項目において上昇が見られ、英語を通じて多様な人とコミュニケーションしたいという態度・動機づけが強まったことが示された。

さらに「日本国内でも英語ができると仕事で役に立つ」(項目48)が高くなり、英語がコミュニケーションの道具として役に立つだけでなく、仕事の道具としても役に立つと認識するようになったことが示された。

上記の通り、一部を除いて多様な好ましい影響があったことが示された。

6. 考察

前項で見た通り、海外短期研修及びその準備期間が、多岐にわたる多くの好ましい影響を及ぼしていることが明らかとなった。書店で英語の本に興味・関心を持つようになることから、広く英語や英語学習に興味・関心を持つようになることが窺える。英語を日々学習する習慣が強まることも、外国語の習得は自習が重要な役割を占めることから、極めて好ましい影響と見られる。2週間の現地での学習や生活は参加学生に多くのものを与えるかもしれないが、その2週間の海外短期留学を機会に英語や英語学習に強い関心を持って、帰国後も毎日学習するようになると、卒業時までの大きな伸びが期待できると考えられる。具体的には、英語の読むこと・書くこと・語彙力を高めたいという態度・動機づけの向上が見られた。先述の通り、事前調査段階での天井効果に注目すると、英語を話すこと・書くことを高めたいという態度・動機づけは、ニュージーランド派遣が決定した、海外短期研修の6か月前の段階で、既に極めて強いことがわかる。実際、本研究以外の短期海外研修に参加した者の中で、4年生で全員受験するTOEIC IPで成績優秀者となる者、成績を大きく伸ばす者、加えて校内外の英語プレゼンテーション・コンテストに参加して成果をあげる者は多い。

他方、英語を読むことに対して好ましくない情意を持つようになることに関しては、現地での研修も含めて、1~3年生の校内の英語の授業でやや比重の高い読むことよりも、現地では話すこと・聴くこと、次に書くことを重視するカリキュラムを実施してもらっていることと関係する可能性がある。また現地で読む多くのものが何かを説明した文章、書籍、雑誌いずれであ

表1 質問紙の回答の記述統計及びウィルコクソンの符号付順位検定

質問 項目	事前調査				事後調査				事前・事後調査間の差			
	平均値	標準 偏差	最小 値	最大 値	平均 値	標準 偏差	最小 値	最大 値	有意 確率	Z 値	効果 量 r	効果量目安
1	5.565	.662	4.000	6.000	5.783	.422	5.000	6.000	.096	1.667	.35	中
2	4.304	1.295	2.000	6.000	4.391	1.373	2.000	6.000	.666	.432	.09	
3	4.043	1.107	1.000	6.000	4.174	1.114	2.000	6.000	.670	.426	.09	
4	4.000	1.128	2.000	6.000	4.130	1.058	2.000	6.000	.571	.566	.12	小
5	2.783	1.413	1.000	6.000	3.565	1.441	1.000	6.000	.007	2.688	.56	大
6	4.826	1.302	1.000	6.000	4.870	1.180	2.000	6.000	.868	.166	.04	
7	5.391	.891	2.000	6.000	5.783	.518	4.000	6.000	.035	2.111	.44	中
8	5.435	.992	2.000	6.000	5.304	1.222	2.000	6.000	.461	.736	.15	小
9	4.870	1.014	3.000	6.000	4.957	1.107	2.000	6.000	.681	.411	.09	
10	4.130	1.456	2.000	6.000	4.609	1.373	2.000	6.000	.118	1.565	.33	中
11	5.565	.662	4.000	6.000	5.522	.846	3.000	6.000	.782	.277	.06	
12	4.522	1.473	1.000	6.000	4.391	1.406	1.000	6.000	.581	.552	.12	小
13	2.913	.848	2.000	4.000	3.478	1.275	2.000	6.000	.049	1.968	.41	中
14	5.565	.662	4.000	6.000	5.522	.994	2.000	6.000	.916	.106	.02	
15	5.826	.388	5.000	6.000	5.870	.344	5.000	6.000	.655	.447	.09	
16	4.783	1.085	2.000	6.000	4.826	1.029	2.000	6.000	.830	.215	.05	
17	4.435	1.273	2.000	6.000	4.609	1.340	2.000	6.000	.604	.519	.11	小
18	4.217	.850	3.000	6.000	4.435	1.199	3.000	6.000	.308	1.020	.21	小
19	2.261	1.010	1.000	4.000	2.870	1.217	1.000	5.000	.005	2.810	.59	大
20	4.000	1.348	1.000	6.000	4.087	1.276	2.000	6.000	.908	.116	.03	
21	5.043	1.147	2.000	6.000	5.130	1.180	2.000	6.000	.713	.368	.08	
22	5.043	1.022	2.000	6.000	5.043	1.224	2.000	6.000	.855	.183	.04	
23	5.870	.344	5.000	6.000	5.870	.458	4.000	6.000	1.000	.000	.00	
24	5.478	.790	4.000	6.000	5.478	.846	3.000	6.000	.916	.106	.02	
25	5.783	.422	5.000	6.000	5.783	.422	5.000	6.000	1.000	.000	.00	
26	4.913	.848	3.000	6.000	5.000	1.206	2.000	6.000	.723	.354	.07	
27	5.217	.795	4.000	6.000	5.478	.790	3.000	6.000	.211	1.251	.26	小
28	5.522	.593	4.000	6.000	5.696	.559	4.000	6.000	.248	1.155	.24	小
29	5.174	.887	3.000	6.000	5.261	1.010	3.000	6.000	.596	.530	.11	小
30	4.739	1.214	2.000	6.000	4.826	.937	3.000	6.000	.617	.500	.11	小
31	5.391	.656	4.000	6.000	5.652	.647	4.000	6.000	.109	1.604	.34	中
32	3.435	1.121	2.000	5.000	3.455	1.262	1.000	6.000	.771	.291	.06	
33	3.739	1.251	1.000	6.000	3.957	1.022	2.000	5.000	.361	.914	.19	小
34	4.522	1.082	3.000	6.000	4.435	1.161	2.000	6.000	.627	.486	.10	小
35	4.870	.968	3.000	6.000	4.522	1.238	2.000	6.000	.248	1.155	.24	小
36	5.652	.647	4.000	6.000	5.652	.573	4.000	6.000	1.000	.000	.00	
37	5.435	.992	2.000	6.000	5.478	.947	2.000	6.000	.792	.264	.06	
38	5.130	1.140	2.000	6.000	5.522	.665	4.000	6.000	.080	1.748	.37	中
39	4.957	1.147	2.000	6.000	5.609	.783	3.000	6.000	.026	2.227	.47	中
40	5.565	.507	5.000	6.000	5.609	.583	4.000	6.000	.782	.277	.06	
41	5.609	.583	4.000	6.000	5.739	.541	4.000	6.000	.477	.711	.15	小
42	5.609	.722	3.000	6.000	5.565	.662	4.000	6.000	.564	.577	.12	小
43	3.522	1.310	2.000	6.000	3.609	.988	1.000	5.000	.768	.295	.06	
44	4.130	1.180	2.000	6.000	3.957	1.364	1.000	6.000	.497	.680	.14	小
45	5.696	.559	4.000	6.000	5.739	.541	4.000	6.000	.792	.264	.06	
46	4.304	1.295	2.000	6.000	4.261	1.287	1.000	6.000	.773	.288	.06	
47	4.174	1.466	1.000	6.000	3.478	1.238	1.000	6.000	.029	2.181	.46	中
48	5.174	.778	3.000	6.000	5.391	.839	3.000	6.000	.132	1.508	.32	中
49	4.826	1.072	3.000	6.000	5.043	1.065	2.000	6.000	.428	.792	.17	小
50	4.783	1.126	2.000	6.000	4.957	1.147	2.000	6.000	.436	.779	.16	小
51	4.522	1.123	2.000	6.000	4.783	1.166	3.000	6.000	.293	1.052	.22	小
52	5.739	.449	5.000	6.000	5.652	.573	4.000	6.000	.527	.632	.13	小
53	4.435	1.754	1.000	6.000	4.696	1.636	1.000	6.000	.469	.725	.15	小
54	3.522	1.928	1.000	6.000	3.565	1.950	1.000	6.000	.964	.045	.01	
55	3.435	1.308	1.000	6.000	4.043	1.186	2.000	6.000	.093	1.679	.35	中

っても、英語母語話者を対象としたもので、語彙レベルも高く、長いものが多く、初級～中級の英語学習者である本校参加者には難しいものが多いことが考えられる。また国内では授業の内外で長い文章を読む機会が少なく、現地では大量の文章を読まなければならない際に困難を感じるということも考えられる。授業内外で無理のない範囲で、多様なレベル、長さの英文を適宜読む機会を学生が持てるように指導することが求められるであろう。

英語のテストを受ける際の不安が緩和されることは好ましい影響で、テストを受験している際に不安の影響をあまり受けずに力を発揮しやすくなる。そして各自の進路に応じて英語の各種テストの準備をする必要のある学生が多いが、そうした準備に前向きに取り組みやすくなるであろう。

英語を使って、色々な人と多様な形でコミュニケーションをしたいという態度・動機づけが強化されたということは、参加者が今後様々な英語コミュニケーション力を高める上で大変好ましいことと考えられる。加えて、卒業後も国内外で英語で外国の人とコミュニケーションをする必要がある場面でしり込みしないで、コミュニケーションしようとするにつながり、参加者にとって大きな財産となるであろう。

日本国内でも英語が仕事に役立つという態度が養成されることにより、高専の上級生になった際に、英語を学習し続ける動機づけにもつながり、好ましい影響を与えると考えられる。

このように海外短期研修自体は2週間という短い期間ではあるが、出発までの6か月間の準備期間も含めて実に多様な好ましい影響を参加者が受けていたことが明らかとなった。

7. 本研究の限界と今後の研究

本研究で調査対象とした人数は23人で、海外短期研修の影響に関する調査として、特に少ないわけではない。しかし、統計処理上、対象人数が多いわけではないので、それを考慮してノンパラメトリック検定を利用して統計処理を行った。しかし単年度だけでなく、今後の派遣に合わせて毎年同様の調査を行ってデータを蓄積していくことにより、準備期間を含めた海外短期研修の影響をより正確に示していくことができるであろう。

逆にデータが蓄積されてくると、年度ごとの数値の変化から、年度ごとの参加者の特徴を客観的に知ることができる可能性がある。

同様にある程度データが蓄積された段階で、海外短期派遣プログラムの一部を変更した場合、その影響を客観的に把握する手段として利用できる可能性もある。多様な観点から継続した調査によって、教員の感覚だけでなく、客観的なデータを参考にしながら、海外短

期研修を実施していく必要があると考えられる。

参考文献

- (1) Splichal, M. & Yamada, H. : “International exchange I: A pre- and post- analysis of the participants’ perceptions”, 仁愛大学研究紀要, 第5号, pp.43-51, 2006.
- (2) 大塚賢一・根岸純子: 「2週間の海外短期語学研修がスピーキング fluency に与える効果及び fluency と英語使用不安・英語授業不安との関係」, 関東甲信越英語教育学会紀要, 第23号, pp. 59-70, 2009.
- (3) 今村一博: 「高校生に対する多読指導と情意, 使用する読解ストラテジーの認識との関係—縦断的研究—」, Language Education & Technology, 第44号, pp. 87-106, 2007.

付録1

質問紙の質問項目

1. 英語の語彙(単語・熟語)力を身につけたい。
2. 英語が話される国の映画やファッションに興味がある。
3. 英語で読んでいる内容を自分が理解できたかどうか不安になる。
4. 英語の教科書を読むのが、あまり苦ではない。
5. 本屋などで英語の本を手にとってみる。
6. 英語が話される国の人々や文化にあこがれる。
7. 英語の読解力を身につけたい。
8. 英語が話せたらカッコいいと思う。
9. 英語を学習すると、教養が身につくと思う。
10. 外国人と英語でメール交換をしたい。
11. 速く英文を読めるようになりたい。
12. 英語ができると、ニュースや情報を早く入手できる。
13. 英文を読むことが苦になる。
14. 将来チャンスがあれば、いつか留学したい。
15. 英語の話す力を身につけたい。
16. 英語を学習すると、自分とは違った考え方についても知ることができる。
17. 英語を使う仕事にあこがれる。
18. 英語は学習の成果が出て自分なりに力がついていっている。
19. ほとんど毎日、英語を学習する習慣がある。
20. 英語の本や新聞・雑誌を読みたい。
21. 英語が話される国や外国の文化を知りたい。
22. 英文を読んで内容がわかるとおもしろい。
23. 外国で仕事をする場合には、英語は役に立つ。
24. 英語の文法力を身につけたい。
25. 英語ができるようになりたい
26. 英語を学習すると、自分の人間的な成長に役立つ。

27. 外国の人と色々なことについて話をしたい.
28. TOEICや英検等の英語の試験や資格試験でよい点数をとりたい.
29. 英語の歌を英語のまま理解したい.
30. 英語を学習すると、新しい考え方について知ることが出来る.
31. 海外旅行をしたら、現地の人と英語でコミュニケーションをしたい.
32. 学校の英語の授業が楽しい.
33. 英語は得意な方だ.
34. 英語を学習するのが好きだ.
35. 外国の映画（英語の映画）を字幕なしで見たい.
36. 英語力がすぐれている人々を見ると、「すごい」と思ったりうらやましいと思ったりする.
37. 編入学試験、入社試験等の英語のテストで合格できる英語力をつけたい.
38. 英語の書く力を身につけたい.
39. 英語でいろいろな国の人々と話をしたい.
40. 英語ができると何かと便利だ.
41. 海外旅行をしたら、英語は役に立つ.
42. 英語のテストで良い点を取りたい.
43. 英語を学習している時、不安になることが多い.
44. 英文を読むことは楽しい.
45. 英語の聴き取る力を身につけたい.
46. インターネットで英語のホームページを見たい（英語で読みたい）.
47. 英語のテストを受ける時、できないのではないかと不安になる.
48. 日本国内でも英語ができると仕事で役に立つ.
49. 日本国内でも英語で外国人と話をしたい.
50. 英語を学習すると、幅広い知識が得られる.
51. 英語に対する学習意欲は強い.
52. 英語を習得したい（英語ができるようになりたいという）気持ちは強い.
53. 日本語で本を読むのは好きである.
54. 日本語で読書をする習慣がある.
55. 長い英文を読むのは嫌いである.